

①生涯スポーツ・レクリエーションの振興	栃木SC支援真岡市実行委員会の支援	栃木SCを支援し、子どもたちに栃木SCの豊かな経験と卓越した技術をもとに、本市の子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、プロの選手に直接触れることで伝えます。また、栃木SCのホームゲームで真岡市民デーを開催し、本市のPRを実施しています。	スポーツ振興課
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブは多様目・多世代・多趣向を特徴にした活動を行い、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブです。 市は平成28年のおかスポーツクラブの設立から会運営の支援を行っています。	
	少年スポーツ指導員の運営	少年スポーツの振興を図るため、小学校を活動場所としているスポーツクラブ、公共施設を活動場所としているスポーツ団体に、少年スポーツ指導員活用交付金を交付し、少年スポーツ指導員の活動を支援しています。	
	運動施設の管理	屋内運動施設(11施設)の管理及び屋外運動施設12運動場(26施設)の管理業務を行っています。	
	地域運動広場の管理	地域住民の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、地域住民の要望に応じて設置してきました。	
	総合運動公園の整備	平成23年6月に全体計画が策定され、陸上競技場を初めとする北ブロック13.7ヘクタールが平成30年に完成しました。令和元年度から南ブロックの整備に着手し、最終的には26.6ヘクタールの敷地に様々なスポーツ施設等を整備する計画になっています。	

(5) 文化芸術活動の振興と文化財の保護・継承

市民の文化芸術活動への支援と、市、市民、文化団体などとの協働によるさらなる文化芸術活動の推進が求められています。

長い歴史と風土に培われてきた自然環境や歴史的遺産は、歴史や伝統、文化を理解するために欠かすことができないものであり、積極的に保護・継承し、保存するとともに活用していく必要があります。

これまで培われてきた文化や伝統を継承し、さらに発展させ、創造的な文化芸術活動の促進を図ることにより、個性が輝き魅力に富んだ、市民だれもが文化芸術に触れ親しみ学ぶまちを目指します。

実践目標	具体的方策	事業概要	担当課名
①文化芸術活動の振興と文化財の保護・継承	文化財保護審議会の運営	教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し教育委員会に建議するため、文化財に関し専門的知識を有する委員及び調査員を委嘱しています。	文化課
	久保講堂施設の維持管理	国の登録文化財「久保講堂」(昭和13年建築、昭和61年移築、平成9年5月7日登録)を適切に保存管理することで貴重な文化財を次の世代へ引き継ぐとともに文化芸術団体の活動成果を展示公開する場として活用します。	
	金鈴荘の管理運営	昭和63年割烹料理店の閉店に伴い、所有者であった故岡部完介氏の遺志により市へ寄贈されました。平成12年に県指定文化財となった岡部記念館「金鈴荘」を適切に保存管理し広く一般に公開するとともに、イベント等にも活用します。 なお、建物は明治初期に10年余を要し建てられたといわれます。 平成23年度に復旧のための調査、平成24年度には本体修理工事等を行いました。	
	指定文化財修復の支援	指定文化財の所有者(管理者)が保存や公開のための修理を行なう場合、国・県が予算の範囲内で補助金を交付する事業に対し、市は所有者への指導助言や補助金交付の事務手続きを支援します。	
	指定無形民俗文化財保存育成の支援	県及び市指定の無形民俗文化財保存団体に対し、補助金を交付することで適切な保存と後継者の育成を図ります。	
	大内資料館の管理	昭和4年に大内村役場として建設され、昭和29年3月31日町村合併により公民館大内分館となりました。 公民館大内分館として使用していた建物を昭和63年から資料館として歴史資料の展示公開を始め、平成11年に真岡市登録文化財となりました。	
	歴史資料保存館の管理運営	市内の歴史資料を収集・保管し、それら資料の一部を一般公開しています。 くらしの道具を常設展示しており、足踏みミシンや脱穀機など民具・農具は、実際に動かすことができます。 市内の小学3年生の社会科見学でも利用されています。	